

日 時：令和6年2月9日（金）15:30-16:30

場 所：大田区役所2階 201、202 会議室

出欠者：別紙委員名簿参照

傍聴者：0名

1 開会

【事務局】

- ・令和5年10月の道路運送法の改正に伴い、本協議会設置要綱の一部を改正しました。改正内容は、改正前は、本要綱の第2条第5号（5）にて、運賃・料金等に関する事項を所掌事項として規定しており、地域公共交通会議にて協議が可能でしたが、10月1日の改正後は、道路運送法第9条第5項に基づき、あらかじめ公聴会の開催、その他住民、利用者、その他の利害関係者の意見を反映させるため必要な処置を講じた上で、区市町村、運賃を定めようとする乗合事業者、管轄の運輸局長、関係住民の代表者の4者での協議が必要となりました。そのため、（5）から削除し、新たに第5条の（7）にて、「道路運送法第9条第4項に規定する運賃等を協議する場合及びその他会長が必要と認める場合は、協議会に委員会、部会等を置くことができる。」と改正しました。
- ・昨年7月3日から実証運行を開始しましたデマンド型交通につきまして、開始から約7ヶ月が経過し、今回は、これまでの実績や分析、今後の方向性について説明させていただいた後、委員の皆様方にご意見をいただければと存じます。

2 報告事項

公共交通不便地域におけるデマンド型交通実証実験について

【屋井委員】

- ・それでは、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

- ・まず、「資料1 利用案内」、「資料2 運行実績」につきましては、運行主体である東急バス株式会社様よりご説明いただきます。お願いします。

【東急バス】

（資料1～2説明）

【事務局】

- ・資料2の「2 周知方法」からは、区からご説明します。（資料2～4説明）

【屋井委員】

- ・どうもありがとうございました。それではこれから委員の皆様にご意見、ご質問をいただき

たいと思います。どの資料でも結構ですので、何かご意見があればよろしくお願いします。

【東京バス協会 米澤委員】

- ・質問が3点あります。1つ目は、先ほどの1日当たりの収入とコストがいくらだったか、聞き漏らしてしまったのもう一度お願いします。
- ・2つ目は、仮に本格運行になった場合、公費負担があるのかを教えてください。
- ・3つ目は、実証実験は6月までの残り4ヶ月ですが、実証実験を延長するのか、本格運行に移行するのかは、4月頃には決めないといけないと思います。今2月ですが、また会議を開催するなど、今後の手続きを教えてください。

【屋井委員】

- ・ありがとうございました。それでは最初は東急バスさんからよろしくお願いします。

【東急バス】

- ・収支状況について改めてご報告いたします。7月3日から12月31日までの期間の累計での収入が約9万円になっております。かかる費用は1年間全体の見込みで、丸めた数字ですが約3,000万円となります。

【事務局】

- ・残り2点について回答いたします。2つ目の公費についてですが、補助金等により公費を入れるには、今回の実証実験の結果を踏まえ、交通手段の妥当性、優位性など、公共交通不便地区の見直し等、より慎重に整理する必要があると考えております。
- ・また今後の手続き等につきまして、継続という話になれば再度地域公共交通会議を開催する必要があると認識しております。ただ、今のところは6月30日まで実験ということで、決まったスケジュールがなく、未定というところです。

【屋井委員】

- ・今回の状況では、十分に周知がされていない可能性もありますが、不便地域と言っている場所の方々があまり利用していない。不便であればあるほど、こうした取組には敏感なはずで、「全然知らない」という人ばかりというのは、少し考えにくい。そうすると、このサービスがそこまで期待されていないのか、駅に向かう利用者もさほど多くないし、利用者の属性を見ても、高齢者がほとんどいない。
- ・私の考えで申し上げますと、従前、徒歩や自転車利用の方が、デマンド交通の利用に変わっている割合が高いようですが、アクティブトラベルとあって、いま日本だけではなくて、歩けたり自転車に乗れたりする人は、健康のためにもそのまま歩いたり自転車に乗っていただければよくて、わざわざデマンド交通にお金を払って乗らなくてもよいのではないかと思います。なので、交通政策基本計画全体のポリシーとか考え方、方向にも照らして、そしてインクルーシブでなければもちろんいけないし、様々な配慮が要るのですが、でもそういう方々に届いていないのか、届いているけどあまり必要がないのか、そのあたりが結構見えてきて

いる気がします。

- ・すぐやめるべきと言うわけではないのですが、3,000 万円で今 300 人ぐらいだから、頑張っても 700 人ぐらい。ワントリップに 4 万円程度かかっている運行になっている。それなら、タクシーの類で補助してもよいのではということにもなってくる。

【清水委員】

- ・繰り返しになってしまうかもしれませんが、3,000 万円というのは、仮に本格運用して少し下げ余地があるにしても、1 ライド 300 円ですと 10 万ライドくらい必要ということ。続けるにしても違うロジックにして使うしかないというのが第一感です。
- ・一方で、会長もおっしゃっていましたが、本来乗るべき人が乗っていない、今はおそらく、特定の人がたくさん乗っている状況。特定の人を使っている MP が浮き出ているが、それだけに過ぎないので、この結果をベースに色々検討するのはすごく危険。限られた期間で本来乗ってほしい高齢者の方々に、介助するぐらいしてとにかく使っていただく。そういう地道なことも必要かと思います。
- ・それから、アンケートを見ていて、近くの病院や、東邦病院に線路を越えて行きたいという意見もあります。62 番の多いところは、名前は郵便局となっていますけど、近くの蒲田リハビリテーション病院などにも伸ばしてあげれば使える余地がありそうですし、病院の周辺に MP を修正できるようであれば、高齢者の方々に刺さるようなサービスになるかなと思います。
- ・今設定している MP と使ってもらいたい属性があまりマッチしていないような気がしているのが第一感で、残り期間で何とか修正できないかなと思っているのと、繰り返しになりますが、本来使ってほしい人に強制的にでもよいので、イベント的に乗ってもらうことも仕掛けた方がよいのではないかというのが私の意見です。

【屋井委員】

- ・どうもありがとうございました。はい、ではどうぞよろしくお願いします。

【大田区商店街連合会 北見委員】

- ・これだけしかお客さんが乗らないことは、ある程度分かっていたと思います。なので、ここまできたら、ノーフィーにしたらどうでしょうか。一度ノーフィーにして、どのくらい乗られるのか、どこまでいくのか、ある程度絞っていただき、それで乗る方が一度使って、便利だとなればお金を払えるということになるかもしれません。
- ・最初はやはりご高齢の方がお使いになるかなと思いましたが、ご高齢の利用者が非常に少ない。周知を徹底されていても、どうやって使うんだろうとか、そういった難しさが出てくるのだと思います。ですから、たまちゃんバスのような巡回形態や、タクシーのように手を挙げて 100 円払ったら乗れるとか、そういうことをしないと、1 回 1 回予約をすることがお年寄りの方にとっては煩わしいのだと思います。そこをどう改善できるかを考えるか、もうこのやり方をやめてしまうか、どちらかだと思います。極端なことをしないと、3,000 万円かけてこれしか乗らないのであれば、最初からノーフィーにして、ある程度実証実験をやる方が、区民の皆さんにも喜ばれるのではないかと思います。

【屋井委員】

- ・どうもありがとうございました。今の、お年寄りのアクセシビリティ、利用しやすさというのはいつも問題になるのですが、電話の予約は何割ぐらいでしたでしょうか。

【東急バス】

- ・資料2「1. 運行実績」の左側の予約数に、電話と Web で記載してあります。エリアで特性があるものの、一番下を見ていただくと電話と Web が約半々のご利用の割合となっております。

【屋井委員】

- ・高齢者の利用も元々少ないのですが、高齢者は電話の方が多いか、そういう傾向はあるのでしょうか。

【東急バス】

- ・電話で予約される方は高齢の方が比較的多いです。それは大田区もそうですし、弊社の他のデマンドでも、電話での予約というのは高齢の方が多い傾向にあります。

【大田観光協会 田中委員】

- ・ただまんべんなく MP を作るということでは、今のように人がたくさん利用しないことが分かったのですが、どこをターゲットに MP を決めてやったらよいのかを検証してもよいと思います。例えば先ほどの、介護施設とか病院をターゲットの一つにしてみても、ある程度歩いて行けるところにはなくても大丈夫ではないでしょうか。
- ・また、観光面でいえば、観光のスポットが MP にあって、それを周知するというのも別の面で利用促進になると思います。
- ・大田区はこれまで色々やっていますが、最後は現実的には採算が合わない等で止まってしまうことがないためにはどうしたらよいのか、バス会社の方も含めて進めていった方がよいと思います。

【屋井委員】

- ・ありがとうございます。今のご意見にも関わりますが、偶数日、奇数日が未だにどうもピンときていない。利用したいと思っても、この日は運行していないということが確率的に2分の1で起こるような気がします。何回か利用していれば運行日を把握しているから、それに合わせて行動することもできますが、最初のスタートでそういえばと思ったときに半分の確率で行けないとなると、それで終わってしまう気がします。
- ・今後半年間の実験では、フォーカスを絞って毎日運行でやってみてはいかがか。利用が倍以上になれば効果があった、倍以下であれば大した効果はないということになる。偶数日、奇数日で、本当にそれで乗りたい人が乗れるのかなということは、ずっと思っていたことです。

【東京バス協会 米澤委員】

- ・よく提案することなのですが、既存のタクシーを利用して、地域限定のタクシー補助券を配布するのはどうなのでしょう。車両の負担もなく、地元のタクシーの増収入になります。タクシーの地域限定の補助券のような策というのは今後あり得るのでしょうか。

【事務局】

- ・先ほどの補助金等の回答と重複してしまいましたが、まずは、6月30日までの実験を行い、結果を精査していきたいと考えています。そして、他自治体での実施事例等をしっかりと情報収集しながらも、大田区のこの地域では道路が非常に狭い、勾配が多い等、様々な事情がある場所もあります。現在のMP設置も含め、12人乗りの車両が入れないような場所には、タクシー等の活用の検討も必要かと思っておりますので、ご意見を参考に進めていければと思います。

【西山委員】

- ・今の件で補足よろしいでしょうか。今、タクシーの利用というご意見をいただきましたが、身体に障害のある方等の特定の方へは福祉タクシーの支援がございます。今後デマンドにおけるタクシー支援につきましては、対象者をしっかりと精査しながら、進めていきたいと考えております。
- ・路線バスは、その時間にそこに行けば乗れて手軽な一方で、今回のデマンドバスは、事前に予約が必要ということですが、予約をすれば必ず座って移動できるというメリットもあると思います。その一方で、予約が必要なために、資料3の5ページの上段のところですが、予約の半分がうまく運行トリップが完了している一方で、予約がリジェクト（拒否）されまったり、キャンセルが出てしまったりというのも予想以上に多かったというのが私個人的に意外に思ったところです。利用者の皆さんに気持ちよく使っていただくために、その辺の工夫も必要かなと思いました。

【屋井委員】

- ・「キャンセル」は、利用者本人がキャンセルした、「リジェクト」は、その時間には予約が受付できなかったという認識でよいでしょうか。

【西山委員】

- ・はい、希望の日時で予約リクエストをしたけれどとれなかった、ということです。

【屋井委員】

- ・理由は既に別の予約で埋まっていて相乗りも不可ということですね。わかりました。どうもありがとうございました。ほかにいかがですか。

【池上地区自治会連合会 樋口委員】

- ・私は池上地区なのですが、池上通りがあって不便がない感じがするかもしれませんが、実際にこうして地図を広げますと、池上通りから第二京浜にかけて非常に交通の便が悪いわけです。そこにこういう提案をしていただいたことが、私どもは非常に感謝しているところで

ございます。

- ・今日も色々説明を聞いていますと、様々な周知をされているのに、まだまだ浸透しきれていないから利用者が少ないのではないかと思います。私の場合、町会長として、防災訓練や防災の招集の際、回覧やポスターとか色々やっておりますが、それでもなかなか参加者が集まらないことがあります。今回区報に出ましたが、回覧的なご案内で、こういう便利なものができているんですよと、地道に広報してもらいたいと思います。よろしくお願いします。

【事務局】

- ・地域への周知等につきましては、様々な形で実施をさせていただいているところです。
- ・既に地域の皆様、特別出張所や町会長の皆様にもご協力いただいているところでございますが、また改めて相談の上、進めていきたいと考えておりますので、引き続きご協力の程よろしくお願いいたします。

【屋井委員】

- ・ありがとうございます。池上とか中央のエリアは、また町内会に配るとか、コストはかかりますが何か伝えるとよい気がします。
- ・パッとこの地図を見て、1番から23番までMPをぐるっと回っていくような誤解をしている方がいるのではないのでしょうか。デマンドというのは、リクエストがあったらそこに寄っていく形式もありますが、ルートが決まっていればデマンドがないときは通過するという形式もあります。順番に回って乗るのでは時間がかかって大変だと思って乗らない等、そのような誤解があってははいけません。
- ・このデマンド型交通は、例えば、1人しか乗らない場合、7番から10番へ行くのに、8、9、10番と順番に行くのではなく、直接10番の目的地へ向かってくれるのですよね。そういうことが簡単に伝わるような、資料1の利用案内よりも小さなパンフレットを作ってみるとか、毎日運行にして利用者の多い方だけの運行にして集中的にやってみるとか、色々試してみても良いかと思います。
- ・大きな事を変えることはなかなか大変ですが、色々な観点から、今日のご指摘等を踏まえて変えられることは変えて、検討すべきことは検討して、それでデータを取っていただいて、次に役立てるようにしていただければと思います。よろしくお願いします。

4 閉会

【事務局】

- ・本日はありがとうございました。本日委員の皆様から頂戴いたしました様々な意見や利用者アンケート、今後の実績等を踏まえながら、今後も進めていきたいと考えております。
- ・次回の会議は、8月21日（水）午後の開催を予定しています。近くなりましたら、メールや郵送等でご連絡をいたします。
- ・委員の皆様は任期ですが、今年3月31日まででお願いしております。年度が変わる時期ですので、改めて委嘱の依頼をさせていただきます。
- ・会議録および本日の資料は後日ホームページで公表いたします。会議録の作成ができました

ら、委員の皆様へメールもしくは郵送にてお送りし、ご確認いただいた上で公表とさせていただきます。

【屋井委員】

- ・本日はどうもありがとうございました。それでは、第4回推進協議会（兼地域公共交通会議）を閉会とします。また引き続きよろしく申し上げます。

以上